

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	子育て応援団体 名古屋はぴま (happy mothers)
ま ち づ くり 活 動 名	ママの幸せが子どもの幸せ、子育てをみんなで楽しもう！
活 動 地 域	瑞穂区
活 動 の 背 景	<p>(団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。)</p> <p>妊娠出産を経験し、地域の方々や先輩ママに助けられたことをきっかけに、感謝の気持ちや貢献することに立場をとり、それぞれがママ講師として活動を始めました。活動している中で同じ志を持った仲間に出会い、一人一人の得意を持ち寄ることでさらに力が増すだろうと、この度団体発足に至りました。</p> <p>スタッフ全員がママであり、妻であり、女性であり、様々な顔を持ちながら毎日奮闘しています。私たちの経験やスキルを活用して、同世代や次世代のママ達に分ち合うことで、地域全体でより子育てを楽しめると思っています。</p> <p>母親になることで女性は新しい可能性を創作できます。</p> <p>ママだから、子どもがいるからと控えることなく、全てのママたちに自分らしく生きてほしいという想いを込めてこの活動を広げていきます。</p>
目 的 ・ 目 標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください)</p> <p>■目的 名古屋で活動するママ講師の得意を持ち寄り、団体や企業の方々の方も借りながらパワーを拡大し、地域の活性化、全てのママ達が子育てを楽しめるようにサポートをし、また、ママ達が時間と場所に縛られない自由な働き方を発見できるよう貢献する。</p> <p>■目標 まずはイベントに参加された方々に笑顔になっていただき、また来たい、お友達を誘いたいと分かち合っていたく。 そして発信者側である、はぴまメンバーになりたいとリーダーシップを取り、まちづくり団体のメンバーになっていただく。 時間や場所に縛られず、ママ講師として自己表現ができる働き方を創作し、家族との絆をより深め、地域や社会への発展に貢献していただく。</p> <p>■成果 6月～12月の間で約30人以上の動員見込み。 季節ごとに親子で楽しめるイベントを開催予定、各イベント約10人の親子に参加していただく。 9月までに発信者側としてまちづくり団体のはぴまメンバー8人の加入と12月の年内活動終了時点で、ママ講師として活動したいと新しい可能性を創作してくださる方4人の加入を目指す。</p>

活 動 内 容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>参加してくださる親子の笑顔を作るために、ふれあいベビーマッサージ、手形足形アート、ヨガ、家族撮影を定期開催。 それらを通して親子のコミュニケーションを楽しみながら絆を深め、身体を動かすこと、外の空気に触れることで育児のリフレッシュとなり、子供の成長記録をより愛おしいものに、幸せのかたちとして記憶と記録の両方で残していただく。 また、名古屋で活動する他業種のママ講師にも声をかけ、交流会や季節ごとのイベントを開催する。(バランスボール、リトミックなど) プール開き、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、忘年会、新年会など、季節に合わせてイベントを開催する。</p>	
活 動 予 定 期	2022 年 6 月 ~ 2023 年 3 月	
助成金交付申請額	50,000 円	※1 回目 (上限 5 万円) ※2 回目、3 回目 (上限 10 万円)

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>・親同士が気軽に相談・共感しあえる仲間づくりのサポートや居場所を提供することができれば、コロナ禍で生活する親子が、世間から孤立した「孤育て」を防げ、健全な子育てを楽しむことができます。 ・マスクで大人の表情が読み取れず、子供の発語の遅れやコミュニケーション能力や自己表現力の低下が昨今注目されています。そのような問題を解消する為には今まで以上に親子が外に出向き、様々な経験・体験をすること、友達と触れ合う機会を地域全体で作る必要があります。 ・今まで広告費がかからないソーシャルメディアで告知をしていましたが、ソーシャルメディアを利用していないママもたくさんいることから、活動助成金を頂くことで、チラシ媒体でも告知すること、団体や企業とタイアップすることも可能になります。 『私たちが子育てをしているこの名古屋市をより良くしたい』そして『より子育てしやすい環境を子供たちの代に残していきたい』そんな思いで活動していきます。 まちづくり活動助成を受けながら、今まで届かなかった幅広い親子の層へのアプローチを可能にしていきたいです。</p>	
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>団体のはびまメンバーが個人で活動してきた経験やスキルを活用し、ママと子供の目線だけでなく、日頃から子育てをサポートしてくれる様々な方の視点に立って、喜ばれるファミリーイベントを計画し実行していきます。 個人の活動で繋がった団体のみならず、今後、市民団体や企業とのタイアップをすることで季節ごとのイベント開催を目指し、地域全体で協力体制を築いていきます。 場所の規模感によって変動しますが、参加してくださったママ同士の交流が取りやすいように1回のイベントに最大10組を定員とします。</p>	

審査基準③	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>発展性</p> <p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <p>子どもだけのイベント開催や遊び場としてだけではなく、親が子育ての喜びや苦悩を共有・共感し合える場として愛され続ける「親子の居場所」を探索し続ける。</p> <p>イベントに参加した親子や、活動を耳にした個人・団体の方々など、私たちの想いに賛同し、一緒に地域社会を盛り上げてくれる仲間を増やしていきたい。</p> <p>女性の多くは結婚出産を機に会社を辞め、子育てに専念して社会との繋がりが希薄になる傾向があります。この活動を通して、子どもが繋げてくれたご縁を大切に、女性が自分の身体や時間を大切にしながら働いて、親子で社会貢献できる居場所を作っていくようはびまメンバー一同、地域の方のサポートも受けながら取り組んでいきます。</p>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2022	4	打ち合わせ	活動内容、実施日など取り決め。 メンバー選定。
	5	申請書提出	
	6	助成決定後打ち合わせ	メンバー内で今後の具体的な打合せ
	7	広報実施	活動のチラシ作成と地域への周知
	8	プールイベント	水遊びを行う
	9	ハイハイレース	ハイハイレースを行う
	10	ハロウィンイベント	お菓子交換会・ブース撮影
	11	ワークショップ：	ママ講師としての働き方
	12	クリスマスイベント・ 反省会の実施	団体メンバーで、今年の反省点と 来年に向けての話合い
2023	1	活動報告と打ち合わせ 実施報告書の提出	昨年の活動を振り返りながら 活動実績報告書の作成
	2		
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000
活動経費の内訳	謝金	親子イベント	バランスボール、リトミック (講師商談中)	10,000
	広告費	広報活動	HP作成委託 (¥15,000) SNS広告 (¥15,000) チラシ印刷200部 (¥3,000)	33,000
	賃借料	イベント会場	コミュニティセンター等 (¥2,000/回)	10,000
支出合計				53,000

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。